第二週　神の満足と表現のためにキリストを全焼のささげ物とする

鳥瞰の范例

認識(標語)
私達は自分が神のために絶対的でなく、
キリストを私達の全焼のささげ物とする必要があることを認識する

経験(主題)
私達は神の満足と表現のためにキリストを
全焼のささげ物とする必要があります

キリストをパースンとして受け入れ、
彼を生き/彼を表現する

* 全焼のささげ物はキリストを予表する

Ⅰ　全焼のささげ物が予表するのは、
キリストが完全に絶対的に神と神の満足のためであったということです

- キリストの九つの面の表徴

A　彼の従順　イザヤ53:7彼は…ほふり場に引かれて行く小羊のように…
B　彼の屠殺　ピリピ2:8…死にまでも、しかも十字架の死に至るまでも従順になられ…
C　彼の辱め(皮をはがれる)マタイ27:28…彼らはイエスの衣をはぎ取り、真っ赤な外套を彼に着せ
D　彼の冒涜(切り分けられる)ルカ23:37もしおまえがユダヤ人の王であるなら、自分を救え！
E　彼の知恵(頭)　マタイ22:21…カイザルのものはカイザルに、神のものは神に返しなさい
F　彼の喜び(脂肪)ヨハネ8:29…わたしはいつも、彼に喜ばれる事を行なっているからである
G　彼の心の深み(内臓)ヨハネ2:17あなたの家を思う熱心がわたしを食い尽くす
H　彼の行動(脚)　ヨハネ10:30わたしと父は一である
I　彼の聖霊による守り(洗い)ルカ4:1イエスは聖霊に満ちて…四十日…悪魔に試みられた

* 私達は自分が神のために絶対的でないことを認識する

Ⅱ　全焼のささげものは、私達がいかに自分のためであり、神に生きていないかを暴露し、
私達が罪深いかを見させます。
レビ6:25…罪のためのささげ物は、全焼のささげ物がほふられる場所で、
エホバの御前にほふられなければならない

* キリストを私達の全焼のささげ物とする必要がある

Ⅲ　ですから、私達は全焼のささげ物の上に手を置くことによって、
キリストと結合されて一になり、キリストを全焼のささげ物とする必要があります

- 私達のすべての弱さは彼によって負われ、彼のすべての美徳は私達のものとなります
- 彼が地上で生きた全焼のささげ物の生活を私達の中で繰り返します

2コリ5:21神は罪を知らなかった方を、わたしたちに代わって罪とされました.
それは、わたしたちが彼の中で神の義となるためです。
ガラ6:17これからは、だれもわたしを煩わさないでいただきたい.
わたしは、イエスの焼き印をこの身に帯びているのですから。

* Ⅳ-Ⅴ:私達はキリストを全焼のささげ物とする必要がある

Ⅳ　私達は主に生きる－日ごとにキリストを全焼のささげ物とする必要があります

- 全焼のささげ物としてのキリストの九つの面の経験におけるキリストを経験します

2コリ5:15…彼がすべてのために死なれたのは、生きている者がもはや自分自身にではなく、
彼らのために死んで復活させられた方に生きるためです。
2コリ4:17なぜなら、わたしたちの受けるつかの間の軽い患難は、
ますます卓越した永遠の重い栄光を、わたしたちにもたらすからです

Ⅴ　こうして、彼の美しさの表現はますます私達のものとなって、彼を大きく表現します

* 結果:神の**満足**のため(上に昇る香)

Ⅵ　私達がキリストを全焼のささげ物として経験するとき、
快い満足の香りが上に昇り、神を満足させます

- 「全焼のささげ物」と訳されたヘブル語は、昇っていくものを示します
この昇っていくことはキリストを指しています
- 全焼のささげ物としてのキリストは神の満足のためであり、神の願いを成就します
- 上に昇る快い満足の香りは神を満足させます。これが全焼のささげ物の意義です

レビ1:9…祭司はそのすべてを祭壇の上で、全焼のささげ物として焼いて
煙を立ち上らせなければならない. それは…エホバを満足させるかおりである。

* 結果:神の**表現**のため(下に降りる灰)

Ⅶ　同時に、私達は減少して灰になり、新エルサレムとなって神を表現します

- 灰は神が全焼のささげ物を受け入れたことのしるしです
灰は終わりではなく、開始です
- 灰を祭壇の東側、日の出の側に置くことは、復活の暗示です

2コリ1:9実に、私達は自ら、自分自身のうちに死という答えを持ちました. それは、私達が
自分自身に信頼するのではなく、死人を復活させる神に信頼するためでした.

- 最終的に、灰は新エルサレムとなります。
全焼のささげ物の結果は、神のエコノミーを完成します

ローマ12:1…あなたがたの体を、神に喜ばれる、聖なる、生きた犠牲としてささげなさい…
レビ6:13火は祭壇の上で絶えず燃え続けさせなければならない. それを消してはならない。

わたしたちは、自分が神のために絶対的でないこと、また自分の中では神のために絶対的になることはできないことを認識する必要があります。
それから、わたしたちはキリスト(神のために絶対的である生活をする方)をわたしたちの全焼のささげ物とする必要があります。／標語二